

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット



2024年7月7日

2024年度 オンライン研修
「多様性が生きることばの教育」

研修A

「文化間移動をする高校生の日本語指導」

キャリアを開拓するための日本語指導

—職業的専門性に関連付けた日本語学習活動を例に—

小西円・武内博子・齋藤ひろみ

2 調理師専門学校進学の場合

小西円

紹介する事例

辻調理師専門学校 東京

- ・留学生が1～2割 在籍
- ・韓国、中国、台湾、タイ、ベトナムなど
(海外からの受験の場合)
- ・調理師系のコースだと、修了時に所定の成績・出席率のクリアで、調理師免許が取れる



調理師学校を出た後に求められる力



料理人

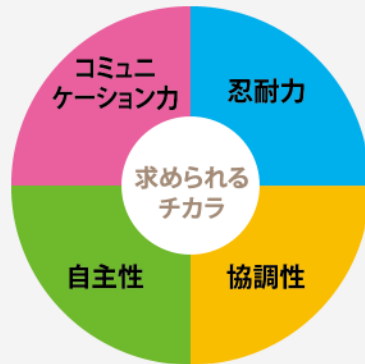
(洋食、和食、中華、カフェ など)

[個人店・小中規模店]

求人の多さ ★★★★★

自分の料理を食べた お客様の笑顔がやりがい

日本料理店やフランス料理店など活躍の場は多種多様。旬の食材選びやさまざまな調理法、盛り付けなどに技術とセンスが求められる。



主な就職先

- フランス料理専門店
- イタリア料理専門店
- ビストロ
- 洋食店
- ファミリーレストラン
- オーベルジュ
- 料亭
- 割烹
- 専門料理店 (寿司・天ぷらなど)
- 日本料理店
- 中国料理店
- 無国籍料理店
- カフェ



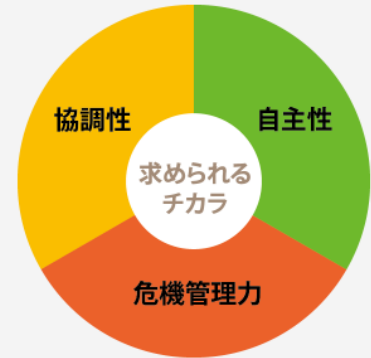
給食調理人

[教育機関]

求人の多さ ★★★★★

“食”の基本を大切に 日常食で人々の健康を支える

日常食を提供するに、栄養バランス、人々の健康を



学校・幼稚園 ● 給食センター



オーナー

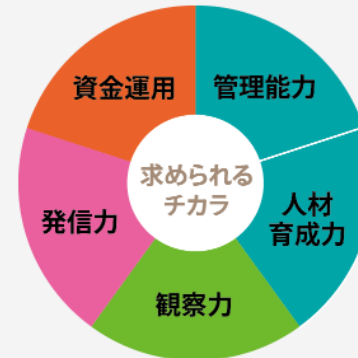
(西洋・日本・中国料理、カフェ など)

[個人店・小中規模店]

求人の多さ ★☆☆☆☆

こだわりの料理と空間を 自身のセンスで演出！

料理はもちろん、インテリアなど空間にもこだわり、自分のスタイルで料理を出すレストランやカフェの主人。経営者としての手腕も求められる。



主な就職先

※就職ではなく、経験を積み重ね、将来自ら開業する。

「食の業界ガイド」より
<https://www.tsuji.ac.jp/career/guide/#food>

調理師学校を出た後に求められる力

- ・コミュニケーション力
- ・自主性
- ・協調性
- ・忍耐力
- ・危機管理能力

調理師としての専門の力・
仕事を仲間と責任をもって
行う力

汎用的な力

- ・管理能力
- ・人材育成能力
- ・観察力
- ・発信力
- ・資金運用

上記の力 +
オーナーとして
新しいものを作っていく力・
経営の力

調理師専門学校で求められる力 (学校への聞き取りから)

(1) 座学で行う授業の理解

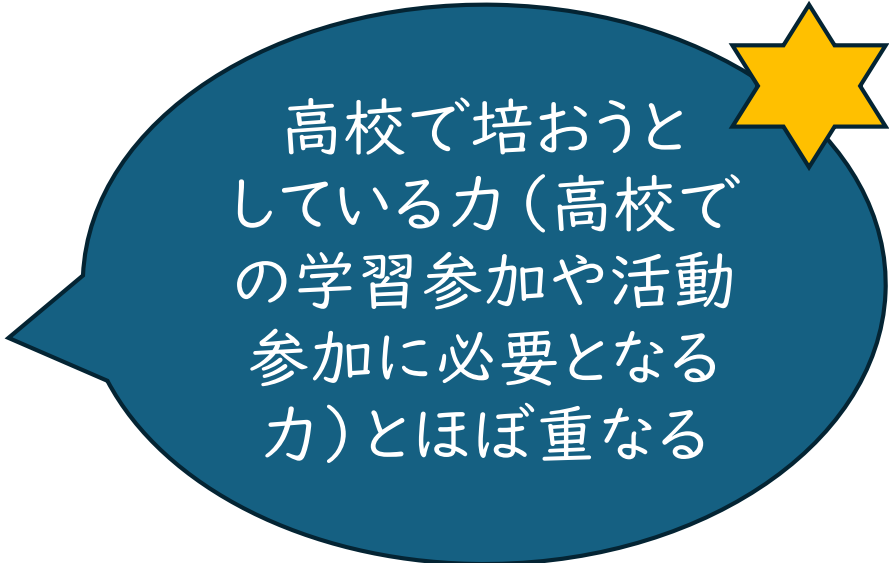
- > 事前配布資料や教科書の理解
- > 講義の理解
- > 提出物やテスト(課題)のクリア
- > PCなどのデバイスの利用と理解

(2) 調理実習でのパフォーマンス

- > 事前配布のレシピや教科書の理解
- > 教員の指示の理解
- > グループ作業が多いため、メンバーとのコミュニケーション

(3) それらの前提としての基礎学力

- > たとえば分量の計算、割合の計算 など



高校で培おうと
している力(高校での
学習参加や活動
参加に必要となる
力)とほぼ重なる

たとえば 調理師本科で学ぶ必修授業

「食生活と栄養」

「食品学」

「食品の安全と衛生」

「調理理論」

「食文化概論」

「調理実習」

「総合調理実習」

食中毒の概要と予防法、食品添加物などについて学ぶ

文化継承を担う調理師として食と文化などを学ぶ

大量調理などに対応できるように、衛生面にも気をつけながら、調理・提供をする。自分たちでメニューを考え、仕入れをし、実際にお客さんに提供することも。

マネジメント学科では「キャリアマネジメント」なども学ぶ

事例

『食品の安全と衛生』p.13

『食品の安全と衛生』p.13

Aは、BとCとに分けられる。
Bは～である。一方、Cは～である。
(定義づけたり、分類したりする文で、多くの教科書に用いられている)

事例

『食文化概論』p.6-7

『食文化概論』p.6-7


AをBと呼ぶ。
(重要語を提示する表現。多くの教科書に
用いられている)

図表の提示と読みとり
(本文に書かれている内容がシンプルにま
とめられている。内容理解や、まとめ作業に
役立つ)

事例

『フードビジネス』p.73

図表の提示と読みとり
(本文に書かれている内容がシンプルにまとめられている。内容理解に役立つ)



専門用語ともいえる「ターゲット」などは、本文中に太字で書かれ、説明されている。専門用語は専門学校で新たに学ばよいため、それよりも、日本語の基本的な読み書きの力・コミュニケーションの力(理解した内容をまとめて発信したり、メンバーと議論したりする力)が大切。



高校の学習参加に必要な力

『フードビジネス』p.73

卒業後の進路における運用力を高めるための 学習デザインの考え方

専門学校で応用できる日本語の運用力を高めたい！
たとえば・・・調理のための材料を調達する活動で「取引先と折衝する会話のスキル」を
高められるといいのでは？

でも、見たことがない専門学校の授業はわからない・・・



しかし、求められている日本語の力は
高校での学習参加・活動参加に必要な力とほぼ重なる。
そこに、「将来の学び(そして仕事)の土台となる日本語」を重ね合わせる！



『ガイドライン』でお示した
プログラムC(技能別日本語)とプログラムD(日本語プロジェクト)を応用して
授業を計画・実施することができます。

各プログラムの概要

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』P.113、131、159

プログラムC (技能別日本語)

4技能(聞く・話す・読む・書く)に軸を置くタスク活動を中心に構成。
1時間単位で実施可能。

ステップ1: 日本語でのパフォーマンス(モデル)を見るなどして、今日の授業の目標として、どのような技能を身に着ける学習をするのかを知り、基本的な練習をする。

ステップ2: ステップ1で学んだ技能を運用しながらタスクを遂行する。

ステップ3: タスク遂行の結果について振り返り、技能の向上に向けて注意すべきことを確認し、必要に応じて練習する。

活動事例

書く(W-10): 志望動機書類(就職)を書く。

志望理由や抱負を表す表現: 「~のは~からです」「~に魅力を感じ志望いたしました」など

ステップ1: 就職したい仕事や会社について話し合う。

ステップ2: モデルを見て志望動機書を書く。

ステップ3: 志望動機書をよりよいものに書き換える。

具体的な指導案がガイドラインにあります

各プログラムの概要

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』P.114、115

プログラムD(日本語プロジェクト)

共生社会の一員として自己を表現し、よりよい社会をつくるために、実際に問題・課題を解決する活動(プロジェクト)を通して、思考し、判断し、表現するためのことばの力を高める。

1つのテーマで5~6時間。その中にテーマをめぐる複数のタスクを設定し、1つのタスクは1~2時間程度で取り組めるものを配置。タスクの組み合わせによって、4技能全体を高められる総合的な活動にする。

活動事例

テーマ: キャリアA 職種・職業

目標: 身近な商品の流通の仕組みと関連する職業について知り、身近な社会人へのインタビューを通して、職種についての具体的なイメージを持つことができる。

タスク1: 身近な商品が手に入る過程を調べて商品の流通について理解する。

タスク2: 身近な社会人にインタビューし、職種による仕事の内容の違いについて理解する。

社会科などの
学習との
関連付け

各プログラムの概要

『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』P.105、122

参考 プログラムB(日本語基礎)

日本語の基礎的な構造・意味・機能を理解し、生徒の生活場面や学習画面で運用できる。

ステップ1：この授業で目標とする語彙や表現・文型の形・意味・使い方を知る。

ステップ2：リピートや語の変形などの発話練習、文作りやQ&Aなどの基本的な練習をする(基礎練習)。

ステップ3：設定した場面・トピックで、感じ考えたことを話したり書いたりして相手に伝え、自らことばを創造的に運用する(応用練習)。

活動事例

日本語基礎Ⅰ「わたし」：自分や自分の身の回りのことについて話し、同様のテーマで周囲の人と基礎的なコミュニケーションをとることができる。

日本語基礎Ⅱ「仲間」：教室や放課後に教師やクラスメイトと、経験の共有、意見のやりとり、依頼や許可等、多様なコミュニケーションをとることができる。

例) 提出物の指示 「宿題は明日出してください」「このプリントを忘れないでください」

日本語基礎Ⅲ「学習」：基礎的なコミュニケーションの日本語の精度を高め、教科の学習につながる日本語の構造を理解することができる。

運用力を高める学習デザイン案 高校編

テーマ: 活動を計画・実施するー文化祭の出店内容を決め、必要な物品を調達する

目標: メンバーと交渉して文化祭の出店内容を決め、予算・必要な材料・購入する店を調べて決定する。購入する店と交渉をして、価格や購入日時・条件について決定する。

タスク1: 過去の出店内容などを参考に、今年の出店内容を決定する。
(過去事例の収集と**内容理解**、自身の**意見の表明**、メンバーとの**交渉**)

タスク2: 必要な材料を決定し、購入する店舗の候補を絞る。
(過去事例の収集と**内容理解**、材料の計算、店舗情報を**調べて説明する**)

タスク3: 店舗に連絡して、価格や購入日時、配送条件などを交渉する。
(**外部の社会人との交渉**、こちらの**意見や条件を伝える**)

卒業後を特に意識できる部分

赤字部分:タスクの実施に必要なことばの力

タスク1の具体例

技能:「聞く・話す」
「読む」

>過去の出店内容などを参考に、今年の出店内容を決定する。

>(過去事例の収集と**内容理解**、自身の**意見の表明**、メンバーとの**交渉**)

具体的な言語項目(自身の意見の表明):

「わたしは～がいいんじゃないかな**って思うんだけど**」

「～を**やってみたいな**」

「～が**よさそう**」

「～(だ)**から**」(よく売れそうだから、楽しそうだから、先輩がすごくいいって言ってたから)

生徒のことばの力を見ながら、必要であれば文型や語彙の確認・練習も。

具体的な言語項目(メンバーとの交渉):

「～さんは**どう思う?**」

「～って**いう意見**/～を心配している**人**/～をやりたい**人**が多いね」

タスク2の具体例

技能:「聞く・話す」
「読む・書く」

- > 必要な材料を決定し、購入する店舗の候補を絞る。
- > (過去事例の収集と**内容理解**、材料の計算、店舗情報を**調べて説明する**)

具体的な言語項目(材料の決定):

- 「去年はX個作っていたけど、今年はY個作るから、●がZ個必要だね」(比較する)
- 「去年は●がX円だったけど、今年はY円くらいかもしれない」(予想する)
- 「予算が足りないから、作る量を減らさないといけない」

具体的な言語項目(店舗を調べて、調べた内容を伝える):

- 「~っていう店が、野菜が安い**みたいだよ**」
- 「特に水曜日が安い**んだって**」
- 「この店は配達をしてくれる**って書いてあるよ**」

タスク3の具体例

技能:「聞く・話す」
「読む・書く」

- > 店舗に連絡して、価格や購入日時、配送条件などを交渉する。
- > (外部の社会人との交渉、こちらの意見や条件を伝える)

具体的な言語項目(店舗との交渉):

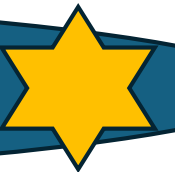
「(もしもし/あの一)、お忙しいところすみません。●高校の者なんです。文化祭で使用する材料を購入したくて、いくつかお尋ねしたいことがあるんですが、よろしいですか。」

「●をX日にY個購入したいんですが、価格って、当日にならないとわかりませんか。予算が決まっているので、先に価格を知りたいんですが」

「少しお安くなったりしませんか(割引は可能でしょうか)」

「そちらは、配送をしてくださると書いてあったんですが、●高校までX日に運んでいただくことは可能ですか」

学内のメンバーと話すときとは違う表現であることを意識して学ばせる。
生徒のことばの力をみながら、必要に応じて事前練習(ロールプレイなど)。



具体は現場と生徒にあわせて

それぞれの学校の
実情にあわせた
時間数・内容で

同じような目標や構造を持った学習デザインの例

- ・文化祭の事例（例：クラスでおそろいのTシャツを作るためのデザイン決定と発注 等）
- ・部活動の事例（例：調理部でメニューを決めて、材料を買う 等）
- ・体育祭の事例（例：ダンスの振り付けを考えて、衣装を調達する 等）
- ・クラス活動の事例（例：学期末のクラス会でのお菓子を選んで買う 等）



一つ一つの活動において「ことばの力の育成」をイメージして行い、卒業後のイメージを生徒に伝え続けることで、卒業後にも生きることばの運用力を育成する